



SUSCP

CP ステンレス平歯車

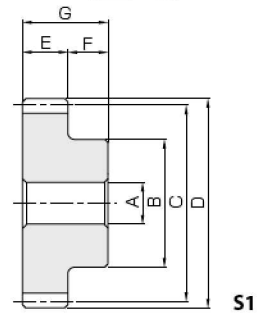


円ピッチ 5、10



共通仕様		
精度等級	JIS B 級 (JIS B 1702-1: 1998)* 旧 JIS 4 級 (JIS B 1702: 1976)	
歯形	並歯	
圧力角	20°	
材料	SUS303	
熱処理	—	
歯面硬度	(187HB 以下)	
ピッチ	CP5	CP10
歯幅 (E)	15	30
ボス長さ (F)	15	20
全長 (G)	30	50
タップ位置 (J)	7.5	10

* Jシリーズは、表記精度等級「相当品」です。



平歯車

はずば歯車

内歯車

ラック

コンプレックス
ギヤ

マイタ

かさ歯車

ねじ歯車

ウォームギヤ

ギヤボックス

その他

カタログ記号	ピッチ mm (モジュール)	歯数	形状	穴径 AH7	ボス径 B	基準円直径 C	歯先円直径 D	小歯車 1 回転 移動距離 (mm)	許容トルク (N・m)		許容トルク (kgf・m)		バックラッシュ (mm)	質量 (kg)	価格 (円)
									曲げ強さ	歯面強さ	曲げ強さ	歯面強さ			
SUSCP5-20	CP5 (1.5915)	20	S1	8	25	31.83	35.01	100	13.7	2.50	1.40	0.25	0.09~0.26	0.14	2,550
SUSCP5-25		25		10	32	39.78	42.97	125	18.5	4.31	1.89	0.44		0.22	3,090
SUSCP5-30		30		10	38	47.74	50.93	150	23.4	6.72	2.39	0.68		0.32	4,100
SUSCP10-20	CP10 (3.1831)	20		15	50	63.66	70.03	200	110	21.9	11.2	2.23	0.14~0.36	0.98	9,210
SUSCP10-25		25		20	60	79.57	85.94	250	148	37.4	15.1	3.82		1.48	12,650
SUSCP10-30		30		20	75	95.49	101.86	300	187	58.0	19.1	5.92		2.24	17,940

〔製品特性上の注意〕 ①表記の許容トルクは任意の使用条件で計算した参考値です。詳細については 245 頁をご覧ください。

②表記のバックラッシュは同一ピッチの SURCPF ラックを理論値で組立てたときの数値です。

〔追加工上の注意〕 ①製品を追加工するときは 46 頁の「追加工するときの注意」をご覧の上、安全面に注意して加工してください。当社でも「歯車工房」にて追加工を承っております。

②歯幅を狭くする加工は歯車精度や強度に影響を及ぼすため避けてください。



SURCPF・SURCPFD

CP ステンレスラック

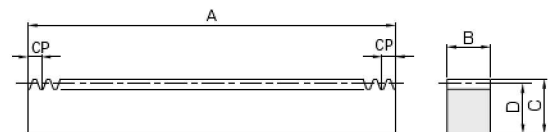


円ピッチ 5、10



共通仕様		
精度等級	KHK R 001 5 級*	
歯形	並歯	
圧力角	20°	
材料	SUS304	
熱処理	溶体化処理	
歯面硬度	(187HB 以下)	

* Jシリーズは、表記精度等級「相当品」です。



RF

カタログ記号	ピッチ mm (モジュール)	歯数	形状	全長		高さ C	かみ合い高さ D	許容伝達力 (N)		許容伝達力 (kgf)		質量 (kg)	価格 (円)
				A	B			曲げ強さ	歯面強さ	曲げ強さ	歯面強さ		
SURCPF5-500	CP5 (1.5915)	100	RF	500	15	20	18.41	1090	263	111	26.8	1.08	11,700
SURCPF5-1000		200		1000	1090	263	111	26.8	2.16	22,600			
SURCPF10-500	CP10 (3.1831)	50		500	30	35	31.82	4370	1050	445	107	3.73	27,400
SURCPF10-1000		100		1000	4370	1050	445	107	7.46	52,700			

カタログ記号	ピッチ mm (モジュール)	歯数	形状	全長		高さ C	かみ合い高さ D	取付穴位置寸法					
				A	B			E	F	G	穴数	使用ねじ	
●SURCPFD5-500J	CP5 (1.5915)	100	RD	500	15	20	18.41	8	25	150	4	M5	
●SURCPFD5-1000		200		1000	18.41	8	50	180	6	M5			
●SURCPFD10-500J	CP10 (3.1831)	50		500	30	35	31.82	14	25	150	4	M10	
●SURCPFD10-1000		100		1000	31.82	14	50	180	6	M10			

〔製品特性上の注意〕 ①表記の許容伝達力は任意の使用条件で計算した参考値です。詳細については 245 頁をご覧ください。

②ラックのバックラッシュは、使用する相手ピニオンによって異なるため、203 頁に掲載した「ラック単体のバックラッシュ (歯厚減少量)」及び相手ピニオンのバックラッシュから算出してください。

③ステンレスの素材には*溶体化処理と**不動態化処理を施してあります。不動態化処理によって、より防錆効果を高めていますが、製品の加工面はその効果がありません。本製品は完全な防錆製品ではありませんのでご注意ください。

*溶体化処理 (固溶化処理)

素材を作るときに表面に発生する炭化物を素材内部に溶かし込む熱処理

**不動態化処理

酸洗い (硝酸) して、より錆びにくくする処理

④ラックをベース面にセット後、ロックピンで固定してください。取り付けねじだけで負荷を受けるとねじが破損する危険性があります。